

田辺 久美子准教授

大学
はいま

研究室から

全身麻酔による手術のいません。麻酔の安全性は飛躍的に向上しました。全身麻酔と いうのは、意識がなく 知機能障害・神経変性なるわけですから、全 疾患など脳に慢性疾患のある方が手術を受けます。

理由により、脳に物理的障害をおった方の急 性の向上・高齢の患者 性期も手術対象となります。

より安全な全身麻酔手術を

は当然脳に作用するものと考えられます。し

かし、どのようにして 麻酔がかかるのか、ま

を受けることは、まさ に命がけの行為でした。 醉薬や、全身麻酔中の

モニターの発達により だ完全には解明されて

なっていくのか、悪化していくかを決める

因子の一つに、サイト カインや神経栄養因子

と呼ばれる物質が関 与しています。脳を構 成する細胞には神經 細胞の他にグリア細胞

と呼ばれる細胞があり ます。グリア細胞は直 接・間接的に神經細胞を保護する重要な役割を果たしています。



昔は全身麻酔で手術 を受けたことは、まさ か、麻酔薬が麻酔作用

以外にどのような影響

られる機会が増えま でいます。また、脳出 成する細胞には神經

細胞の影響とその機序を 検討することにより、

より安全に手術を受け

てもらえることを目指 して研究をおこなって

います。